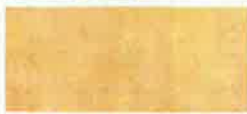




# 地産地消ガイド横浜

ようこそ 横浜農場へ



つくって

たべる

# 地元で生産して地元で消費する

みんなで”地産地消”に取り組むといいことがたくさん!



顔が見える農家から農産物を買うことで生まれる安心感



収穫してすぐに食べる野菜や果物の新鮮さ・おいしさ



顔が見える消費者との関係が農家にもたらすやる気



近くのものを食べれば運搬のエネルギーがかからず地球にもやさしい



身近な農畜産物を食べたり、育てたりすることで、“食”への関心や知識が高まる

さああなたも“地産地消”に取り組みましょう!

1

“横浜の農業”を知る

➡ P3へ

2

横浜生まれの農畜産物を買う・味わう

➡ P4・5へ

3

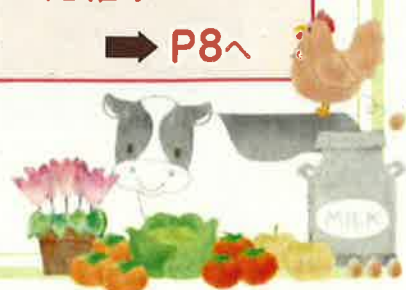
農を体験する

➡ P6・7へ

4

農の魅力を発信する

➡ P8へ



# 1 “横浜の農業”を知る

横浜では、野菜や果物、花や植木、牛乳や卵など、いろいろな農畜産物が生産されています。西区を除いて、すべての区に農地があり、農地は市域面積の約7.1%を占めています。

横浜は農地と住宅地が混在している都市なのです。

〈農家戸数〉4,202戸 (H22農業センサス)  
 〈農業就業人口〉5,416人 (H22農業センサス)  
 〈農地面積〉3,082ha (市域面積 43,580ha)  
(固定資産概要調査等をもとに集計平成25年1月1日現在)

## “横浜生まれ”を知らせる あんなマークやこんなマーク

### はま菜ちゃん



横浜市では、「新鮮・おいしさ」「安定供給」等をキーワードに、横浜産の野菜や果物30品目を横浜ブランド農産物「はま菜ちゃん」(生産振興品目)として認定しています。シンボルマークのはま菜ちゃんが目印です。

【野菜26品目】ホウレンソウ、コマツナ、トマト、キュウリ、ナス、トウモロコシ、カリフラワー、ネギ、エダマメ、インゲン、キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カブ、ダイコン、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、サツマイモ、サトイモ、ゴボウ、レタス、シュンギク、ミズナ、ツケナ類、ウド  
 【果物4品目】ナシ、ブドウ、カキ、ウメ

### ハマッ子



JA横浜のオリジナルブランド。JA横浜管内で生産された野菜等をすべてハマッ子としています。市場を通じて流通していたり、量販店との連携によってスーパーに並んでいたり、と幅広く流通しています。

### はまぼーく



飲食店等の事業系食品をリサイクルした飼料と小麦トウモロコシ等の配合飼料を混合して与え、横浜の生産者が育てた肉質良好な豚肉です。肉の色は淡紅色で、脂肪は白く肉の中にも含まれるため、非常に柔らかいと好評です。

### やまゆりポーク



県内指定生産農場の厳選された豚肉で、横浜市内でも2軒の農家が生産しています。麦類を豊富に含む指定配合飼料で脂肪の質を高め、じっくり熟成させているため、脂肪は白く、また、赤身が柔らかく豊かな風味です。

### 横浜ビーフ



牛肉文化発祥の地であり、文明開化の象徴である「横浜」で生まれた神奈川県産の高品質牛肉。高品質の牛肉を生産するため優秀な血統の和牛子牛を選定し、餌に統一の基本配合飼料「横浜ビーフA」を使用した黒毛和牛です。横浜市内では3軒の農家が生産しています。

## 横浜の地産地消の情報はこちらから!

“よこはまの農と暮らしを結ぶ情報誌”

### はまふうどナビ



年に4回発行されている情報誌で、旬の農産物や直売所の情報、地産地消を実践している方々の取組等を掲載しています。区役所等の公共施設で配布するほか、メールマガジンを配信しています。

●はまふうどナビの内容はHPからもご覧いただけます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisyo/torikumi/hamafoodnavi.html>

### 食べる.横浜



横浜の農業や美しい農景観、美味しい農畜産物の情報をご紹介します1冊。横浜市とJA横浜、神奈川県新聞社が1年以上かけて制作した、地産地消ガイド本の決定版です。書店やJA横浜の直売所等でご購入いただけます。(本体価格1,300円+税)

横浜市のホームページ

### 「横浜で地産地消」情報サイト



横浜産農畜産物が買える直売所や味わえる飲食店、野菜や果物の収穫体験ができる農園をはじめとした地産地消情報が盛りだくさん。ぜひご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisyo/>

## ちょこっとメモ! ヨコハマ・グッズ「横浜001」

ヨコハマ・グッズ「横浜001」は、2年に1度横浜市民と横浜を訪れるゲストの皆さんに愛される良質な商品を認定している、横浜が選んだ横浜ブランドです。

平成27年度現在認定されている206品目の中には、「横浜のトマトソースシリーズ」等、市内産の農畜産物が使われている商品もあります。



## 2 横浜生まれの農畜産物を買う・味わう

市内産の農畜産物は、直売所や青空市で買ったり、飲食店で味わったりすることができます。  
旬の“農”が楽しめる直売所や飲食店。ぜひご利用ください。

### 直売所・青空市で買う

#### 直売所

市内には、無人直売所、自動販売機、街中に店舗を構えているもの等、様々な直売所があります。その中でもJA横浜が開設している農産物直売所「ハマッ子」は、市内に14か所あり、出荷登録している生産者は

1,000人を超えています(H27年現在)。野菜、果物、花、植木、鶏卵、精肉、乳製品など、横浜の農畜産物がそろっています。横浜の農畜産物を味わいたい方は、ぜひお近くの直売所へ行ってみてください。

#### JA横浜の直売所

※原則年中無休(年末年始等特定日を除く)

##### ★メルカートきた(都筑区)

〈住 所〉都筑区東方町1401  
〈問合せ先〉☎045-949-0211

##### ★メルカートいそご(磯子区)

〈住 所〉磯子区田中2-4-8  
〈問合せ先〉☎045-771-9081

##### ★メルカートつおか(旭区)

〈住 所〉旭区今宿西町289  
〈問合せ先〉☎045-953-9558

##### ★メルカートかながわ(神奈川区)

〈住 所〉神奈川区神大寺2-19-15  
〈問合せ先〉☎045-481-3913

##### ★メルカートみなみ(泉区)

〈住 所〉泉区中田西2-2-4  
〈問合せ先〉☎045-805-6641

##### ★「ハマッ子」直売所 本郷店(栄区)

〈住 所〉栄区桂町279-24  
〈問合せ先〉☎045-896-0546

##### ★「ハマッ子」直売所 みなみ店(泉区)

〈住 所〉泉区中田西2-1-1  
〈問合せ先〉☎045-803-9272

##### ★「ハマッ子」直売所 瀬谷店(瀬谷区)

〈住 所〉瀬谷区本郷2-32-10  
〈問合せ先〉☎045-304-9599

##### ★「ハマッ子」直売所 都筑中川店(都筑区)

〈住 所〉都筑区中川中央1-26-6  
〈問合せ先〉☎045-912-3731

##### ★「ハマッ子」直売所 たまプラーザ店(青葉区)

〈住 所〉青葉区美しが丘2-15-1  
〈問合せ先〉☎045-905-1353

##### ★「ハマッ子」直売所 中里店(青葉区)

〈住 所〉青葉区下谷本町40-2  
〈問合せ先〉☎045-973-2522

##### ★「ハマッ子」直売所 南万騎が原店(旭区)

〈住 所〉旭区柏町131-2  
〈問合せ先〉☎045-363-9403

##### ★「ハマッ子」直売所 舞岡や(戸塚区)

〈住 所〉戸塚区舞岡町4043  
〈問合せ先〉☎045-824-0075  
※毎週火曜日・年末年始は休業

##### ★「ハマッ子」直売所 四季菜館(青葉区)

〈住 所〉青葉区田奈町52-8  
〈問合せ先〉☎045-507-4593



▲メルカートきた(都筑区)



▲「ハマッ子」直売所 瀬谷店(瀬谷区)

お近くの直売の情報はこちらから

横浜市の直売情報▷<http://www.city.yokohama.lg.jp/kanky/nousan/chokubai/>  
JA横浜の直売情報▷<http://ja-yokohama.or.jp/>

## 青空市

青空市は、市内の公園や駅前等で定期的に行われています。  
その日・その時しか出会えない珍しい野菜・果物たちが並んでいるかも。

この他にも、  
一部の区役所や  
駅構内等で  
青空市やマルシェが  
開催されて  
います。

### ★みなとみらい農家朝市

〈開催日時〉毎月第4日曜 9:00～10:30

〈会場〉高島中央公園

〈問合せ先〉横浜市農業振興課

☎045-671-2639

### ★東戸塚市民朝市

〈開催日時〉毎月第1日曜(1月はお休み)

4～10月 6:30～8:00、

11～3月 7:00～8:00

〈会場〉セントラルフィットネスクラブ

東戸塚 第1駐車場

〈問合せ先〉横浜市南部農政事務所

☎045-866-8493



### ★横浜中部地区市民朝市

〈開催日時〉毎月第1、第3日曜

(1月はお休み。12月は第1日曜と23日に開催)

7:30～8:30

〈会場〉県立保土ヶ谷公園内 ミニ運動広場

〈問合せ先〉横浜市北部農政事務所

☎045-948-2480

### ★長津田支店前直売所

〈開催日時〉毎週火曜、金曜(年末年始と祭日、お盆はお休み)

14:00～18:00

〈会場〉JA横浜 長津田支店前

〈問合せ先〉JA横浜 長津田支店

☎045-983-2541

### ★北八朔日曜朝市

〈開催日時〉毎月第1日曜 10:00～12:00

〈会場〉北八朔上自治会館前広場

〈問合せ先〉横浜市北部農政事務所

☎045-948-2480

※時間等は変更になる場合があります。

## よこはま地産地消サポート店で味わう

横浜市では、市内産農畜産物をメニューに取り入れた飲食店等を「よこはま地産地消サポート店」として登録し、PRを行っています。横浜でとれた新鮮な野菜や果物、卵やお肉などの農畜産物を使った料理が食べたいときは「よこはま地産地消サポート店」へ出掛けてみませんか。

お近くの地産地消サポート店の情報はこちらから

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyounousan/tisantisyo/ajiwau/list.html>



▲横浜野菜のパーニャカウダ

ちよこっとメモ!

## 市内産農畜産物を扱うシェフのお話

### 横濱元町 霧笛楼

総料理長 今平シェフ(横浜ガストロノミ協議会)

中区の元町・中華街からほど近くに、よこはま地産地消サポート店の一つである「仏蘭西料亭 霧笛楼」があります。

地産地消の活動に情熱を注ぐ総料理長の今平茂さんから、地産地消の魅力を聞きました。

「横浜の畑はお店からほんの15～20分。畑からもぎたての新鮮な野菜はゆで時間が短くて、風味が保てるんですよ。料理人が地元の食材に誇りを持ち、生産者も自らの仕事に誇りを持つ、そのことがお互いの信頼関係につながる。それが、地産地消の素晴らしいです。」

今平さんは横浜ガストロノミ協議会\*としての食育活動や地産地消の取組にも積極的に取り組んでいます。近年は、横浜市内の小学校に向けた食育教室や市内産農畜産物を使った給食の提案、市内産の農畜産物を積極的に使用したイベント「アペリティフ365in横濱」を開催するなど、様々な取組を行っています。

「市民の方々が地元の食材にもすごく興味を持っていらっしゃるのを実感します。生産者と消費者が直接つながる機会は大事ですね。地産地消の素晴らしさがもっと伝わると嬉しいです。」  
生産者と消費者を結ぶシェフたちの活動に今後も注目です。

\*横浜ガストロノミ協議会…横浜市民や横浜を訪れる人々に対する豊かな食文化を持つ横浜のPRや、子どもたちに対する食育活動、次世代の食の担い手の育成等の事業を行う特定非営利活動法人

### 3 農を体験する

横浜には、果物狩りや野菜の収穫体験、お米づくりなど、農体験ができる場所が多くあります。

畑や田んぼに足を踏み入れて、農を感じてみませんか。



#### ふるさと村・恵みの里で農体験する

横浜市は、良好な田園景観の保全と地域の活性化を図るための「横浜ふるさと村(2か所)」や、市民と農とのふれあいを図るための「恵みの里(4か所)」など、農業が身近に感じられる場づくりに取り組んでおり、四季折々の農畜産物の収穫体験や料理教室などのイベントを通じた交流を積極的に行っています。イベントは予約制のため、参加する場合は下記のURLから詳細を確認の上、お申込みください。

#### 1 寺家ふるさと村 青葉区

横浜市北西部に位置する寺家ふるさと村。雑木林の丘に挟まれた谷戸田(やとだ)と呼ばれる細長く伸びた水田が幾筋もあり、昔ながらの田園風景が色濃く残っています。

味噌作りやそば打ち教室などを行っています。



昔ながらの田園風景▲

#### 2 舞岡ふるさと村 戸塚区

舞岡ふるさと村は、住宅地に囲まれながらも、緑豊かな山林と田園景観を有する地域です。タケノコ、サツマイモ、ジャガイモ、トマトなどの収穫体験ができます。



緑豊かな遊歩道▲

#### 3 田奈恵みの里 緑区・青葉区

田園都市線 田奈駅前から連なる貴重な水田地域を中心とした田奈恵みの里は、緑区と青葉区の一部に位置しています。地元産の小麦を使ったうどん作りや年間を通じた米作り体験などできます。



農家に教えてもらいながら稲刈りに挑戦▲

#### 4 都岡地区恵みの里 旭区

都岡恵みの里は、露地野菜の栽培と稲作を中心とした谷戸景観が残る地域です。もち米作りやうどん作り体験、サツマイモ等の収穫体験などができます。



春には菜の花畑が広がります▲

#### 5 新治恵みの里 緑区

“横浜の原風景”とも言われる美しい谷戸田を有する新治恵みの里。農家と一緒に米・小麦・サツマイモ作り体験教室や、農家の秘伝レシピを知ることができる郷土料理教室などを行っています。



サツマイモ掘りを体験中▲

#### 6 柴シーサイド恵みの里 金沢区

東京湾に面した柴漁港を有する柴シーサイド恵みの里では、ジャガイモ掘りやミカン狩りなどが楽しい。地元の新鮮野菜や加工品、果物(ミカン類)、季節の切り花等の販売も行っています。



丘の上に広がる柴シーサイド恵みの里▲

ふるさと村と恵みの里の詳細な情報はこちら

◆ 寺家ふるさと村

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/green/furusatomura/jike-index.html>

◆ 舞岡ふるさと村

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/green/furusatomura/maioka-index.html>

◆ 新治恵みの里、田奈恵みの里、都岡地区恵みの里、柴シーサイド恵みの里

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/megumi/>

## 生産者個人の農園で農体験する

市内には生産者個人が開設している収穫体験農園もあります。果物のもぎとりや野菜の収穫体験等が楽しめます。

横浜市内の収穫体験農園情報はこちら

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisyo/taiken/>



◀ウメのもぎ取り



▲ブルーベリーの摘み採り



▲ミカン狩り



▲トウモロコシの収穫体験



▲ジャガイモ堀り

## 市民利用型農園で野菜を育てる

### ● 特区農園

土地所有者等が開設する区画貸しタイプの農園。開設者の事情に応じて、街なかのごくごく小さな農園から農業地域の中にある広い農園まで、立地や施設面でさまざまな農園があります。(192農園 24.3ha(H27/3月末現在認定済))

### ● 栽培収穫体験ファーム

農家が経営指導する農園。畑の耕耘から種苗の準備、栽培指導を開設農家が行います。いわば、農家が先生となった「教室方式の体験農園」です。利用者は農家の指導を受けて、本格的な野菜づくり、農作業を体験します。初心者でも多くの収穫が得られるのが特徴です。(69農園 10.4ha(H27/3月末現在開設数))

### ● 環境学習農園

児童、生徒等を対象に農家が指導を行う農園。市内に残る農地や農業を次の世代に引き継ぐために、環境学習や食育の活動を推進することを目的としています。(16農園 1.1ha(H27/3月末現在開設数))

### ● 市民耕作園

農地に囲まれた良好な環境の中に開設された農園で、自由に野菜の栽培が楽しめる農園です。JA横浜が農家から土地を借りて開設・運営しています。栽培のプロである農家の栽培指導を受けることもできます。(5農園 1.0ha(H27/3月末現在開設数))

横浜市の市民利用型農園の詳細はこちら

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/fureai/siminnouen.html>



ちよこつとんも!

生産者の農作業をサポートする!

### 市民農業大学講座を受講する

横浜市では、「農家で農作業のお手伝いをしたい」、「農と関わりたい」、「地域で緑化等のボランティア活動に参加したい」という市民の方々に、市民農業大学講座を開催しています。

栽培管理の基礎と実際の作業を中心とした講座を通じて、農業や緑の環境への理解を深めることができます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/shientcenter/daigaku.html>

募集は年に1度、2月頃の予定です。お見逃しなく!

この他にも、  
地域独自の援農  
ボランティア団体も  
あります。

## 4 農の魅力を発信する

横浜の農を知って、味わって、体験してみ、その魅力を十分に感じていただけた方は、  
まだ”農の魅力”を知らない人たちに、横浜の農の魅力を伝える活動をしてみませんか。

### はまふうどコンシェルジュの活動

「はまふうどコンシェルジュ」は、“はまふうど(※)”を実践し、普及に努める方々であり、横浜市が毎年講座を通じて認定しています。この講座では”横浜の農と地産地消”、“農をめぐる”、“農を味わう”、“農を体験する”、“それぞれの地産地消を語る”をテーマに、講義や視察見学、実習、意見交換を行います。講座を修了したコンシェルジュたちは、様々な地産地消の活動を行っています。

※横浜の「浜」に、「フード(食べ物)」と「風土」を合わせた言葉。横浜の食と農をつなぐことを意味しています。



▲市内産農畜産物の販売



▲市内産の農地をめぐるバスツアー



▲横浜産野菜を使った料理コンテストの実施



▲地産地消講座の開催

### はまふうどコンシェルジュ講座に興味を持ったら…

はまふうどコンシェルジュ講座は、年に1度6月～8月にかけて開催されています。申込は5月頃に行っています。



▲”農を体験する”農家実習



▲”それぞれの地産地消を語る”意見交換

詳細はHPでチェック!

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisyo/torikumi/concierge-apply.html>

ちこっとメモ!

#### 地産地消条例が施行されました!

「横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例」が平成27年4月1日に施行されました。横浜市は地産地消を推進するため、生産者、事業者及び市民の皆様と協力して市内産農畜産物の利用を促進し、その魅力を市内外に発信します。

ちこっとメモ!

#### おいしく、楽しく、横浜の食育

食べることや体験を通して、健康で豊かな心とからだを育む「食育」は地産地消と深い関係があります。

地産地消は、作り手の顔が見えることで、“食べ物を大切に作る気持ち”や“生産者への感謝の気持ち”が生まれるなど、「食べる」だけではない豊かな心を育むことができます。

また、自分の健康のために、食べるものを自分で選択できる力を育むことも食育の目的のひとつです。ぜひ横浜野菜の中から自分の好きな野菜をみつけ、家族や友人たちと調理をして食べてみてください。

